

# 平成 2 5 年度病害虫発生予察指導情報

## 対象病害虫：ダイズ害虫（No. 2）（ハスモンヨトウ）

平成 2 5 年 9 月 5 日  
鳥取県病害虫防除所

### 1 情報の内容

8月第6半旬現在、フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数は急増している。ほ場間差が大きいいため、各ほ場の発生状況をよく観察し、白変葉が多い場合は防除を行う。

### 2 発生状況

(1) 8月第6半旬現在、フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数は、鳥取市、湯梨浜町のフェロモントラップは平年より多く、河原町では平年並である。

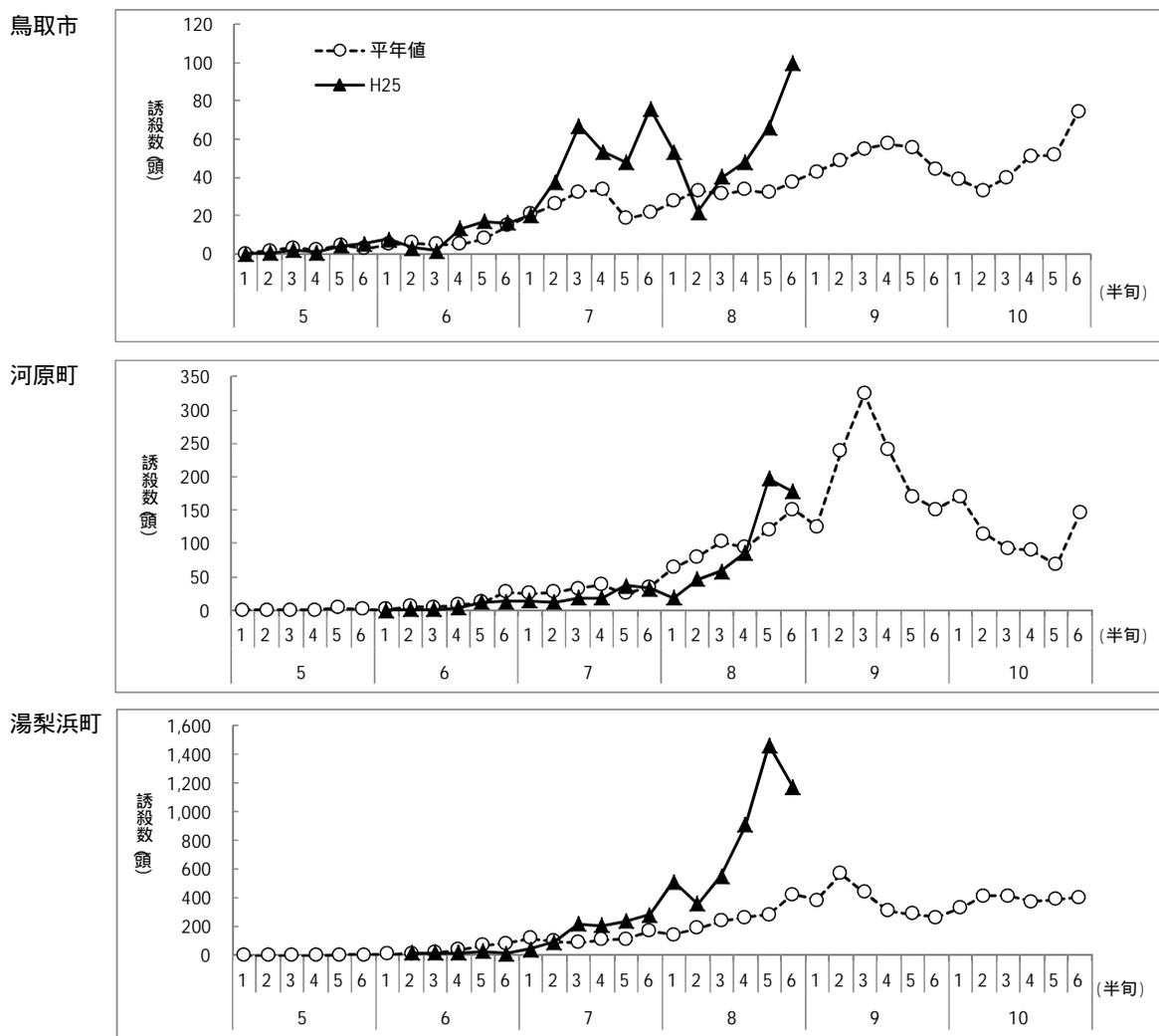


図 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウ雄成虫誘殺消長

### 3 防除上注意すべき事項

- ア 向こう1か月の気象予報から、本種の増殖に好適な条件が続くと予想される。
- イ 若齢幼虫の加害によって発生する白変葉の早期発見に努める。発生初期の場合、葉の切除などの捕殺を行うか、農薬のスポット散布を行う。

ウ 防除の目安は、1 a 当たりの白変か所数 5 か所以上とする。

エ 新葉の出葉により、白変葉が確認されにくいほ場が多いので、観察にあたっては、ほ場周辺からの観察のみならず、ほ場内での観察も行う。

オ 若齢幼虫に対する登録農薬の効果は高いが、齢期が進むと防除効果が低下するため、散布適期を失しないようにする。なお、中齢～老齢幼虫が混在する場合は、ロムダン粉剤 DL、ミミックジョーカー粉剤 DL、ラービンフロアブル、マトリックフロアブル、フェニックス顆粒水和剤、プレバソンフロアブル 5 等を散布すると、比較的効果が高い。

#### 4 その他

チョウ目害虫の食害が多いほ場が散見されている。各ほ場の発生状況をよく観察し、食害が多い場合は防除を行う。